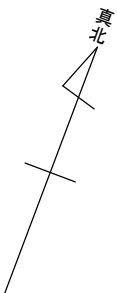
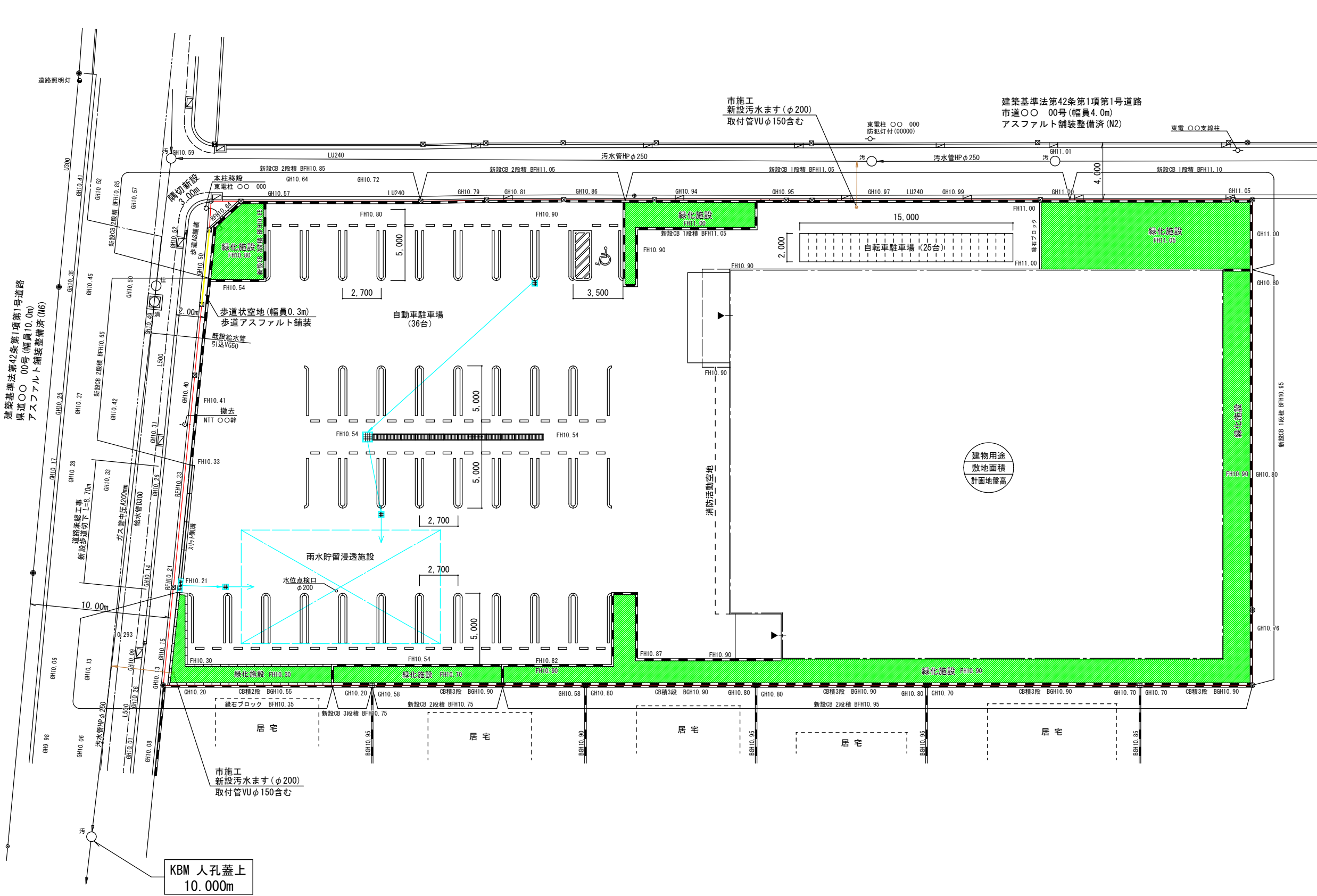


建築基準法第42条第1項第1号道路  
県道〇〇 00号(幅員10.0m)  
アスファルト舗装整備済(N6)



凡 例	
⊕	基準点
○	民コンクリート構
⊗	民金属プレート構
⊠	市金属構
⊙	市金属プレート
⊕	鉄 構
○→	汚水人孔及び汚水管
○→	汚水ます及び取付管 VUφ150
→	雨水ます及び取付管
---	ガス管 φ50mm
GH10.00	現況地盤高
FH10.05	計画地盤高
RFH9.95	道路計画高
BFH9.95	新設コンクリートブロック計画天端高
BGH9.95	既設コンクリートブロック天端高
○	建物用途 敷地面積
○	計画地盤高
□	現場打埋ます
□	雨水貯留浸透施設
■	緑化施設
---	LI側溝
---	地先境界ブロック
---	給水管
○	電柱・防犯灯
---	コンクリートブロック
□	開発事業区域

面積集計表

宅 地	2552.93㎡	99.91%
道 路	2.11㎡	0.09%
開発事業面積	2555.04㎡	100.00%

誓 約 事 項

- 本開発行為着手前に、道路台帳平面図に基づき現地において道路境界を確認します。(道路台帳区域内)
- 市に帰属する道路部分は、道路境界確定図(座標一覧表の記載含む)及び公共施設(道路)用地確定測量図を作成し、完了検査予定日までに検査用1部、検査完了後に必要部数を市道路計画課に提出します。
- 工事関係車両によって道路を破損した場合には、申請者側の費用ですみやかに原形復旧します。
- 道路工事等の施工にあたり、現場と協議図面とに疑義が生じた場合には、速やかに市道路計画課と協議します。
- 道路安全施設(ガードレール等)の移設等は、所管土木事務所と十分調整し、施工します。
- 市に帰属する道路用地に既設埋設管(上下水道・ガス等)がある場合は、撤去又は市道となった時点で道路占用許可を受けます。また、埋設管等を新設する場合にも、同様に道路占用許可(市帰属下水・雨水管は除く)を受けます。
- 開発事業に伴い設置される雨水調整施設については、十分維持管理をします。

※既設水道管理設位置は、水道局の管理図面を基にしております。  
※既設ガス管理設位置は、ガス会社の管理図面を基にしております。

境界標について

※既存隣地境界標については、完了検査時に直視確認できるよう工事施行者がコンクリートブロック等を切欠きして施工・管理します。  
※新規に埋設する市道路境界標、ごみ・資源集積場所境界標及び民境界標については、工事施行者が構造物と一体化埋設します。

緑化計画

緑化施設面積 = ▼▼㎡  
緑化施設率 = 10.50%(≥10%)  
緑被率 = 10.50%(≥10%)

予定建築物  
用 途 ○○  
構 造 鉄骨造平屋建  
建築面積 948.94㎡  
延床面積 948.94㎡  
敷地面積 2552.93㎡

条例による自転車駐車場必要台数の計算  
必要台数 = 延床面積 ÷ 40㎡/台  
= 948.94㎡ ÷ 40㎡/台  
= 23台(≤25台 設置台数)

条例による自動車駐車場必要台数の計算  
必要台数 = 延床面積 ÷ 200㎡/台  
= 948.94㎡ ÷ 200㎡/台  
= 4台(≤36台 設置台数)

図 面 の 名 称		土 地 利 用 計 画 図	
開発事業の名称		〇 〇 〇 〇 新 築 工 事	
開発事業区域に含まれる地域の名称		相模原市中央区〇〇字〇〇〇〇番1の一部	
設計者名		株 式 会 社 〇 〇 測 量 代表取締役 〇 〇 太 郎	
縮 尺	1/200	図面番号	〇 葉 の うち 8 番